

CentreCOM® **WD1004**

ユーザーマニュアル

ご注意

本書の中に含まれる情報は、当社(アライドテレシス株式会社)の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。当社は、予告無く本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。また、改良のため製品の仕様を予告無く変更することがあります。

Copyright© 2001 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。本マニュアルの中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

安全のために



必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意

表示以外の電圧では使用しない

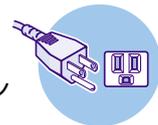
火災や感電の原因となります。
本製品は AC100 - 240V で動作します。
なお、本製品に付属の電源ケーブルは 100V 用ですのでご注意ください。



電圧注意

正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

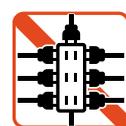
不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。
接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。



3ピン
コンセント

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを
抜け

電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

光源をのぞきこまない

目に障害が発生する場合があります。

光ファイバーケーブルのコネクタ、ケーブルの断面、製品本体のコネクタなどをのぞきこまないでください。



のぞかない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80% 以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはていねいに

落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因となります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る
使用

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー
類不可

このマニュアルについて

このたびは、CentreCOM WD1004(以下、WD1004)をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、GBICモジュール用のスロットをローカルポートに4つ、WDM対応のシングルモード光ファイバー・インターフェースをリモートポートに2つ装備しています。

イーサネット側ローカルポートの2チャンネル分の光信号を装置内でそれぞれ波長の異なる4つの光信号に分割して、リモートポートの1チャンネル上に多重伝送を行います。この構成を2つ内蔵し、最大8Gbps/全二重の伝送パフォーマンスを持ちます。

オプションのマネージメントモジュール(AT-WDM01)を追加することにより、Telnetやターミナルポートから簡単な設定や診断が可能です。また、SNMP(簡易ネットワーク管理プロトコル)による管理が可能なSNMPエージェントにより、SNMPマネージャーから各種情報を監視・設定することができます。

また、オプションの電源モジュール(AT-WDPWRAC)を使用することにより、電源障害による機能停止を防ぎます。

本書では、ご使用いただくうえでの注意事項や設置の方法、付録で障害が発生したときの対処方法や製品仕様について説明しています。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

マニュアルバージョン

2001年 4月 Rev.A 初版

このマニュアルについて

表記規則

本書の表記規則を以下に示します。

アイコン

アイコン		意味
	ヒント	重要な情報や指示を示します。
	注意	人体やシステムに危害がおよぶ恐れがあることを示します。
	警告	人体に重大な危害がおよぶ恐れがあることを示します。
	参照	参照ページ・参照項目を示します。

マニュアルの構成

本書の構成は、以下のとおりです。

1 はじめに

本製品の梱包内容、特長、各部の名称と働き、LED表示について説明しています。

2 設置と接続

本製品を設置するときの注意事項、および設置方法と機器の接続について説明しています。

3 付録

トラブルシューティング、製品仕様について説明しています。

4 保証とユーザーサポート

本製品の保証と、障害の際のユーザーサポート、調査依頼書の記入方法について説明しています。

目次

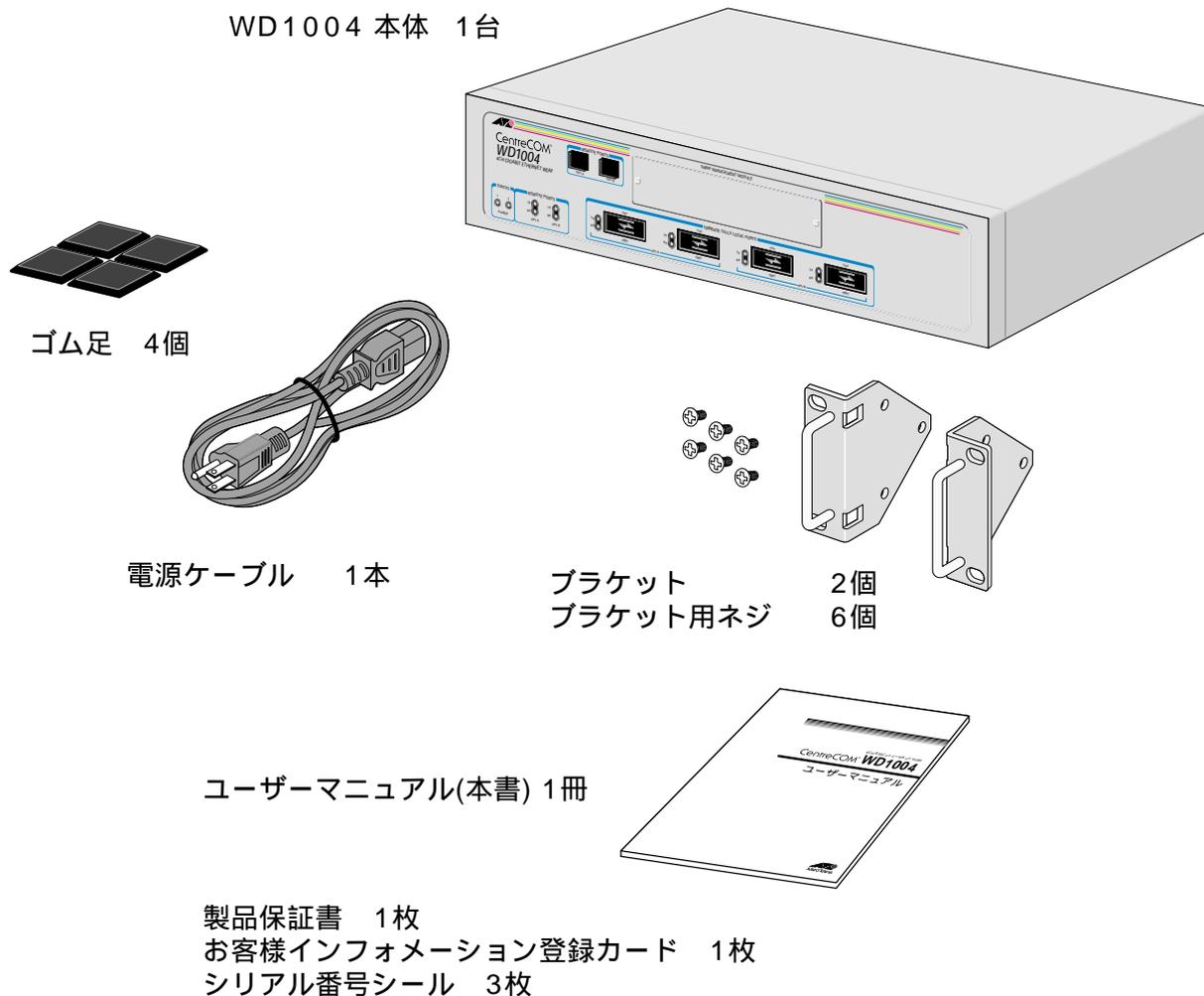
ご注意	2
商標について	2
電波障害自主規制について	2
安全のために	3
このマニュアルについて	5
表記規則	6
マニュアルの構成	7
1 はじめに	10
梱包内容の確認	10
特長	11
各部の名称と働き	12
LED 表示	14
2 設置と接続	15
設置するときの注意	15
設置方法	15
GBIC モジュールの取り付け	17
マネージメントモジュールの取り付け	18
リダンダント電源モジュールの取り付け	19
リモートポートの接続	20
ローカルポートの接続	21
ネットワーク構成	22
マネージメントモジュールの接続	24
電源ケーブルを接続する	27

3	付 録	28
	トラブルシューティング	28
	コネクタ仕様	30
	本製品の仕様	31
4	保証とユーザーサポート	32
	保証	32
	ユーザーサポート	32
	調査依頼書のご記入にあたって	33
	調査依頼書 (CentreCOM WD1004)	35

1 はじめに

梱包内容の確認

最初に箱の中身を確認して、以下のものが入っているかを確認してください。



本製品を移送する場合は工場出荷時と同じ梱包箱で、再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

特長

4チャンネルのギガビットイーサネット信号を2芯シングルモード・光ファイバーで高速伝送

最大 8Gbps のパフォーマンス

最大 35km の伝送距離をサポート

オプションのリダンダント電源モジュール(AT-WDPWRAC)を用いて電源障害による機能停止を防止

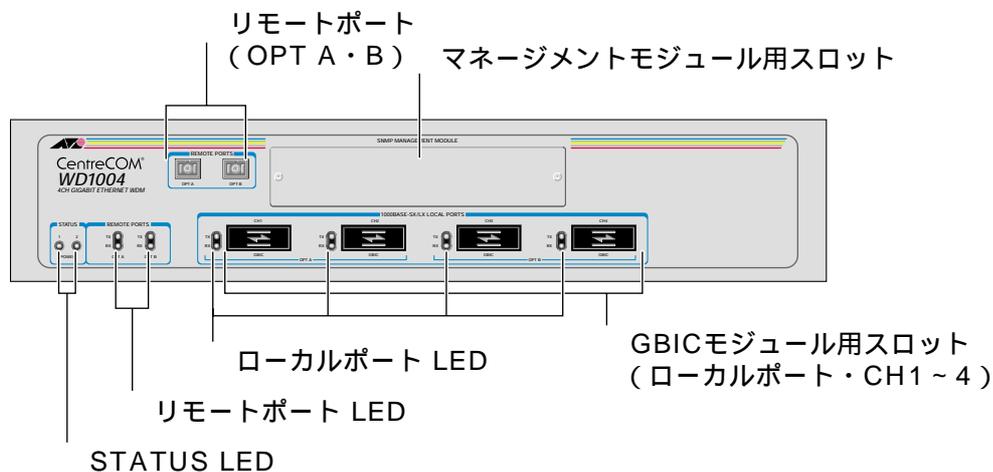
TX と RX LED を各ポートに装備

同梱品のブラケットを用いて、EIA標準の19インチラックへの取り付けが可能

オプションのマネージメントモジュール(AT-WDM01)を用いて、SNMP管理、Telnet 管理が可能

各部の名称と働き

前面



STATUS LED(POWER 1・2)

電源の供給状態を表します。

リモートポート LED

ケーブルがリモートポートに正しく接続され、リンク信号を検出したときに点灯します。

ローカルポート LED

ケーブルがGBICモジュールに正しく接続され、リンク信号を検出したときに点灯します。

リモートポート(OPT A・B)

光ファイバーケーブルを接続するためのポートです。

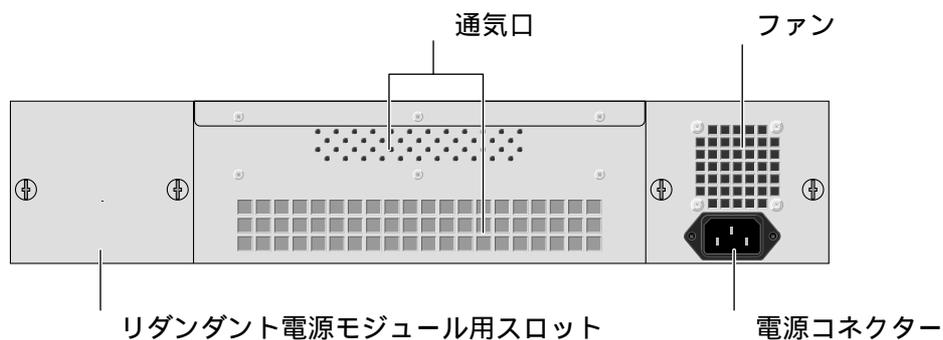
マネージメントモジュール用スロット

オプション(別売)のマネージメントモジュール(AT-WDM01)を装着するためのスロットです。

GBICモジュール用スロット(ローカルポート・CH1～4)

GBICモジュールを装着するためのスロットです。

背面



リダンダント電源モジュール用スロット

オプション(別売)のリダンダント電源モジュール(AT-WDPWRAC)を装着するためのスロットです。

電源コネクター

電源ケーブルを接続するためのコネクターです。

通気口

熱を逃がして空気の循環をよくするための通気口です。

ファン

熱を逃がして空気の循環をよくするためのファンです。



通気口やファンをふさいだり、周囲に物を置いたりしないでください。

LED 表示

STATUS LED

システム全体の状態を示します。

LED	色	状態	表示内容
POWER 1	緑	点灯	標準装備の電源ユニットが正常に動作し、本体に電源が供給されています。
		消灯	標準装備の電源ユニットから電源が供給されていません。
POWER 2	緑	点灯	オプションのリダンダント電源モジュールが装着され、正常に電源が供給されています。
		消灯	オプションのリダンダント電源モジュールから電源が供給されていません。

リモートポートLED / ローカルポートLED

それぞれのポートの状態を示します。

LED	色	状態	表示内容	
OPT A	TX	緑	点灯	ローカルポートCH 1/CH 2の光受信信号を正常に認識しています。
	RX	緑	点灯	対向するWD1004のCH 3/CH 4の光受信信号を正常に受信しています。
OPT B	TX	緑	点灯	ローカルポートCH 3/CH 4の光受信信号を正常に認識しています。
	RX	緑	点灯	対向するWD1004のCH 1/CH 2の光受信信号を正常に受信しています。
CH 1	TX	緑	点灯	対向するWD1004のCH 3の受信信号がOPT B (相手側) OPT A (自分側) を通過して正常に認識されています。
	RX	緑	点灯	自ポートが光信号を正常に受信しています。
CH 2	TX	緑	点灯	対向するWD1004のCH 4の受信信号がOPT B (相手側) OPT A (自分側) を通過して正常に認識されています。
	RX	緑	点灯	自ポートが光信号を正常に受信しています。
CH 3	TX	緑	点灯	対向するWD1004のCH 1の受信信号がOPT A (相手側) OPT B (自分側) を通過して正常に認識されています。
	RX	緑	点灯	自ポートが光信号を正常に受信しています。
CH 4	TX	緑	点灯	対向するWD1004のCH 2の受信信号がOPT A (相手側) OPT B (自分側) を通過して正常に認識されています。
	RX	緑	点灯	自ポートが光信号を正常に受信しています。

光信号が正常に伝送されている場合は以下のような組み合わせでLEDが点灯します。

機器	WD1004 [自分側]		WD1004 [相手側]	
	LED	RX	TX	RX
ポート	CH 1	OPT A	OPT B	CH 3
	CH 2	OPT A	OPT B	CH 4
	CH 3	OPT B	OPT A	CH 1
	CH 4	OPT B	OPT A	CH 2

2 設置と接続

設置するときの注意

本製品の設置や保守を始める前に、必ず 3 ~ 4 ページの「安全のために」をよくお読みください。

設置場所については次の点にご注意ください。

電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。

テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。

傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。

本体の上に物を置かないでください。

直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。

設置方法

設置方法には、水平な場所に設置する方法と、EIA規格の標準ラックに取り付ける方法があります。

デスクの上など水平な場所への設置

- 1 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずします。
- 2 本体背面のファンと通気口をふさぐものがなく、水平で安定した場所に設置します。

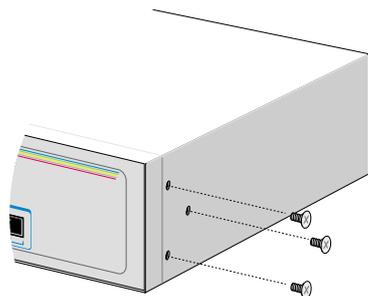
 本製品をデスクの上などに設置する場合は、本体四隅にある マークの位置に必ず付属のゴム足を取り付けてください。本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をします。また、貼り直しは粘着力を弱めますのでご注意ください。

2 設置と接続

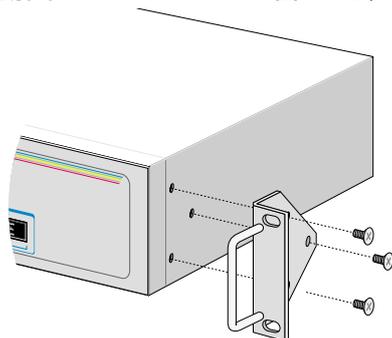
19 インチラックへの取り付け

同梱品のラック用ブラケットを使用して、EIA規格の19インチラックに取り付けることができます。

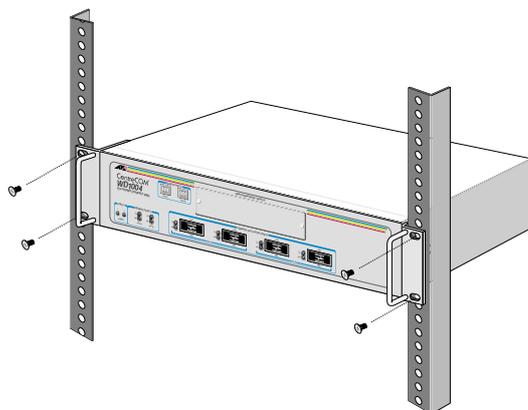
- 1 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずします。
- 2 本体側面のネジをドライバーではずします。



- 3 本体側面にブラケットを合わせ、ブラケット用ネジでしっかり固定します。



- 4 19インチラックの希望する位置に本体を合わせて、ラックに付属しているネジでしっかりと固定します。



⚠ ブラケットおよびブラケット用ネジは必ず同梱のものを使用し、ラックに付属しているネジで、確実に固定してください。固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。

GBIC モジュールの取り付け

本製品のGBICモジュール用スロットにはオプションで、以下のGBICモジュールが装着可能です。

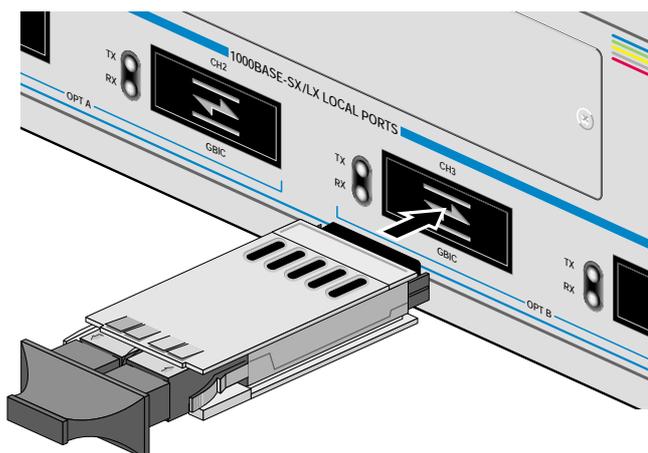
AT-G8SX

AT-G8LX

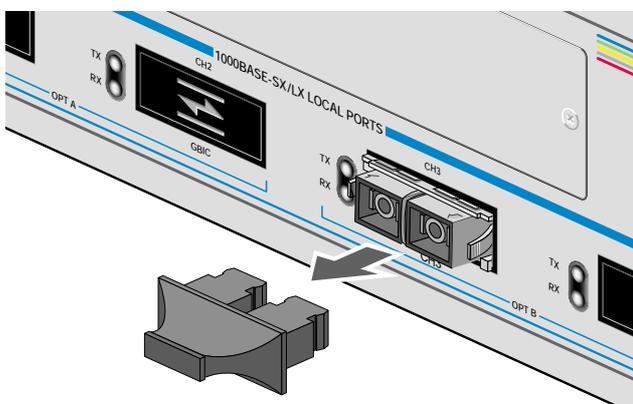
! 弊社販売品以外のGBICを装着しないでください

GBICモジュールはホットスワップ対応(電源が入っている状態で抜き差しが可能)ですが、コネクタからレーザー光が出ているため、本体の電源を切ってから取り付け/取り外しの作業をすることをお勧めします。

- 1 GBICモジュールの両脇のツメを持ち、GBICモジュール用スロットに静かに差し込みます。カチッと音がするまで、確実に押し込んでください。



- 2 ダストカバーを取り外します。



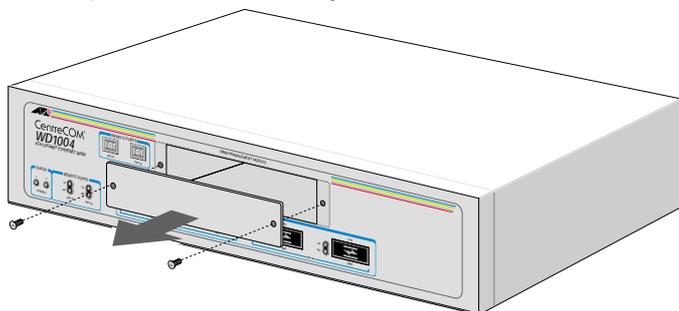
! GBICモジュールは製品によって、形状が異なる場合があります。

2 設置と接続

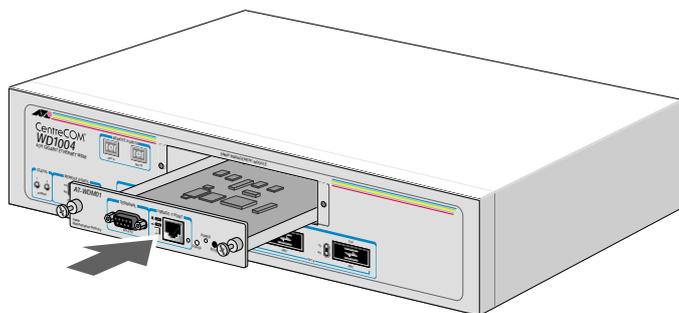
マネージメントモジュールの取り付け

オプションのマネージメントモジュール(AT-WDM01)を装着すると、コンソールを接続して、内蔵ソフトウェアにアクセスすることができます。

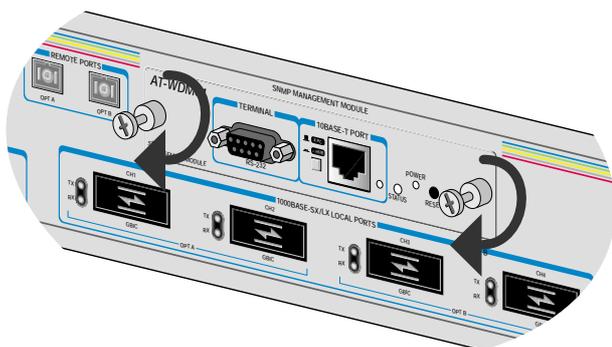
- 1 本体の電源ケーブルを抜きます。
- 2 本体前面マネージメントモジュール用スロットのカバーパネルのネジをドライバーで緩めて、カバーパネルをはずします。
! カバーパネルはマネージメントモジュールを装着するとき以外ははずさないようにしてください。



- 3 マネージメントモジュールのボード部分をスロットのボードガイドにそって差し込みます。このとき、ボード部分には手を触れず、前面パネルを持って取り付けを行ってください。マネージメントモジュールの前面パネルが本体の前面パネルの位置とそろうまで押し込みます。



- 4 マネージメントモジュールの拘束ネジを締めます。

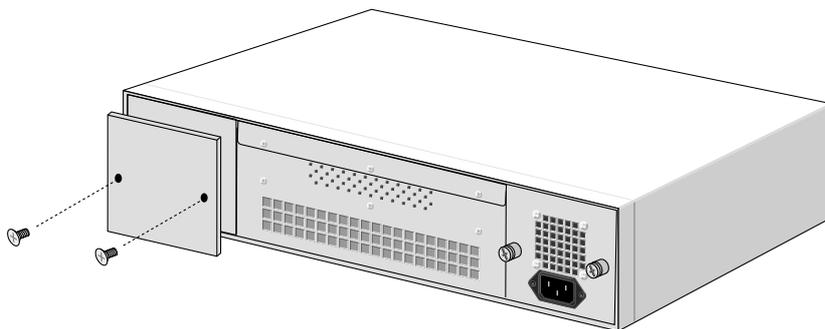


リダンダント電源モジュールの取り付け

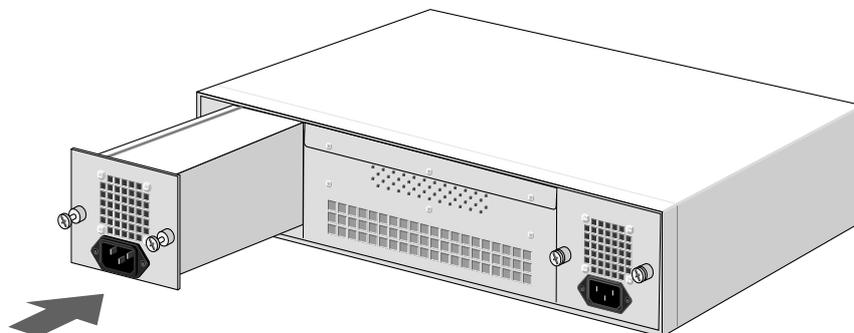
オプションのリダンダント電源モジュール(AT-WDPWRAC)を装着すると、電源障害による機能停止を防止することができます。

- 1 本体背面の電源モジュール用スロットのカバーパネルのネジをドライバーで緩めてカバーパネルをはずします。

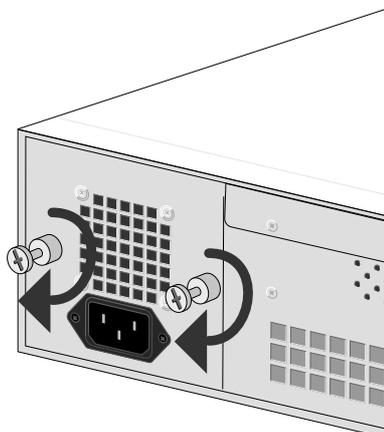
 カバーパネルは電源モジュールを装着するとき以外ははずさないようにしてください。



- 2 電源モジュールをスロットに差し込み、電源コネクターのパネルが本体背面のパネルとそろう位置まで押し込みます。



- 3 電源モジュールの拘束ネジを締めます。



リモートポートの接続

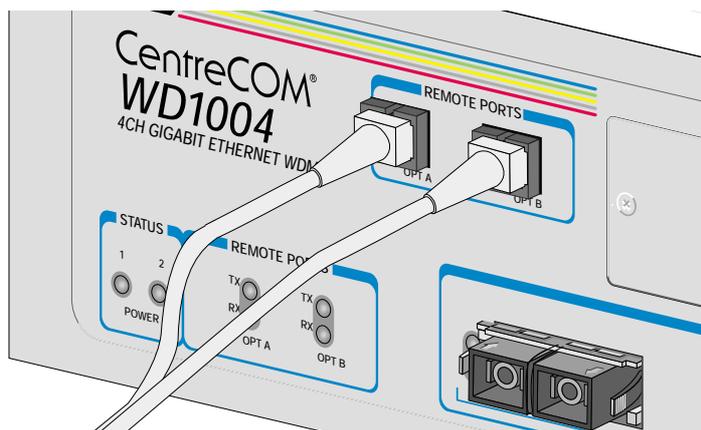
ケーブル

適用ファイバー	9.5/125 μm シングルモードファイバー*
伝送距離	0m ~ 35km
伝送損失	0.5dB/km

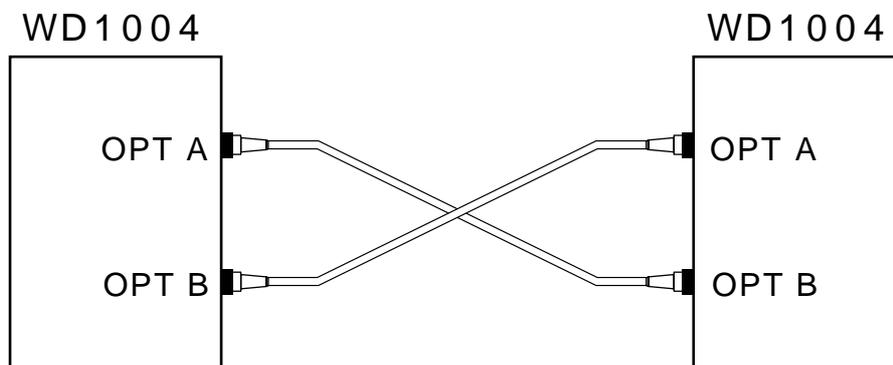
* ITU-T G.652 適用ファイバー

接続

本体前面の OPT A と OPT B ポートにそれぞれ適切なケーブルを接続します。
ケーブルの種類については上の表を参照してください。



i このとき、必ず対向する機器(WD1004)との間の接続がクロスとなるように (OPT A OPT B、OPT B OPT A)接続してください。



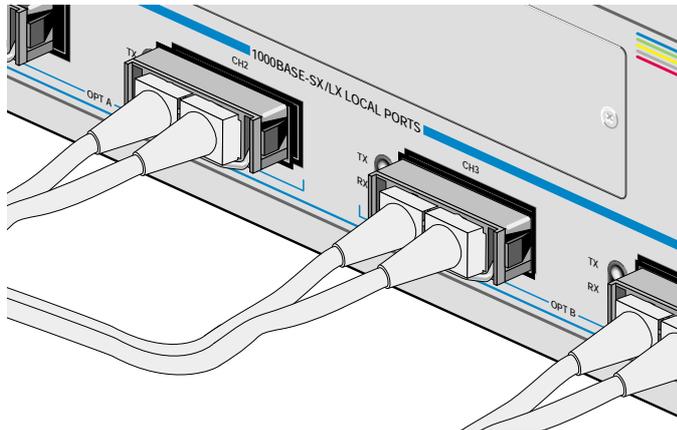
ローカルポートの接続

ケーブル

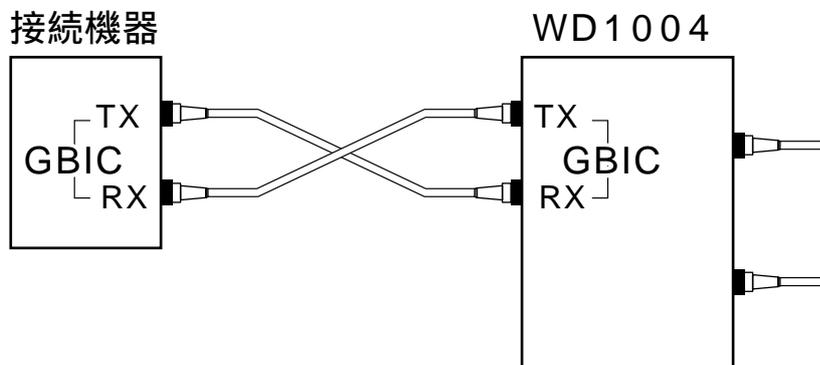
GBICモデル	伝送距離	適用ファイバー
AT-G8SX	2m ~ 550m	50/125 μm マルチモードファイバー
	2m ~ 275m	62.5/125 μm マルチモードファイバー
AT-G8LX	2m ~ 5000m	10.0/125 μm シングルモードファイバー

接続

GBICモジュールのTX、RXポートにそれぞれ適切なケーブルを接続します。ケーブルの種類については上の表を参照してください。



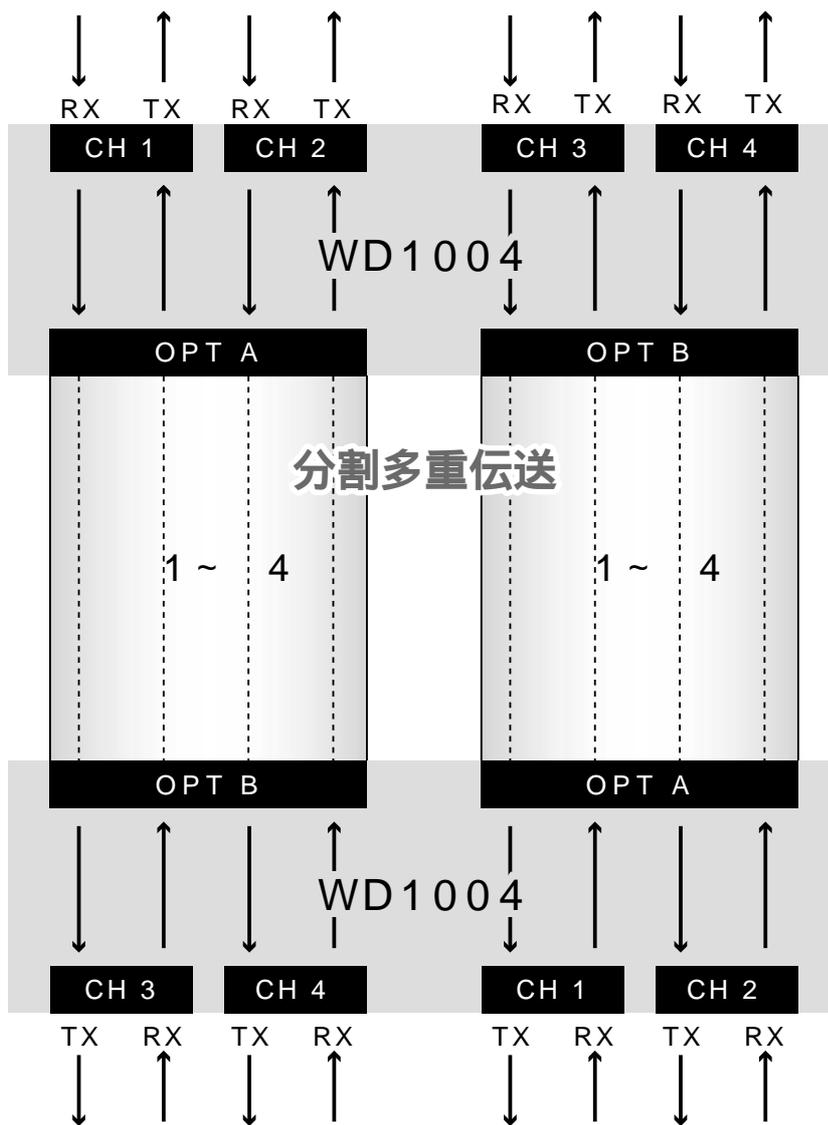
i 光ファイバーケーブルは2本で一对となっています。必ずクロス接続 (TX → RX, RX → TX) をしてください。



ネットワーク構成

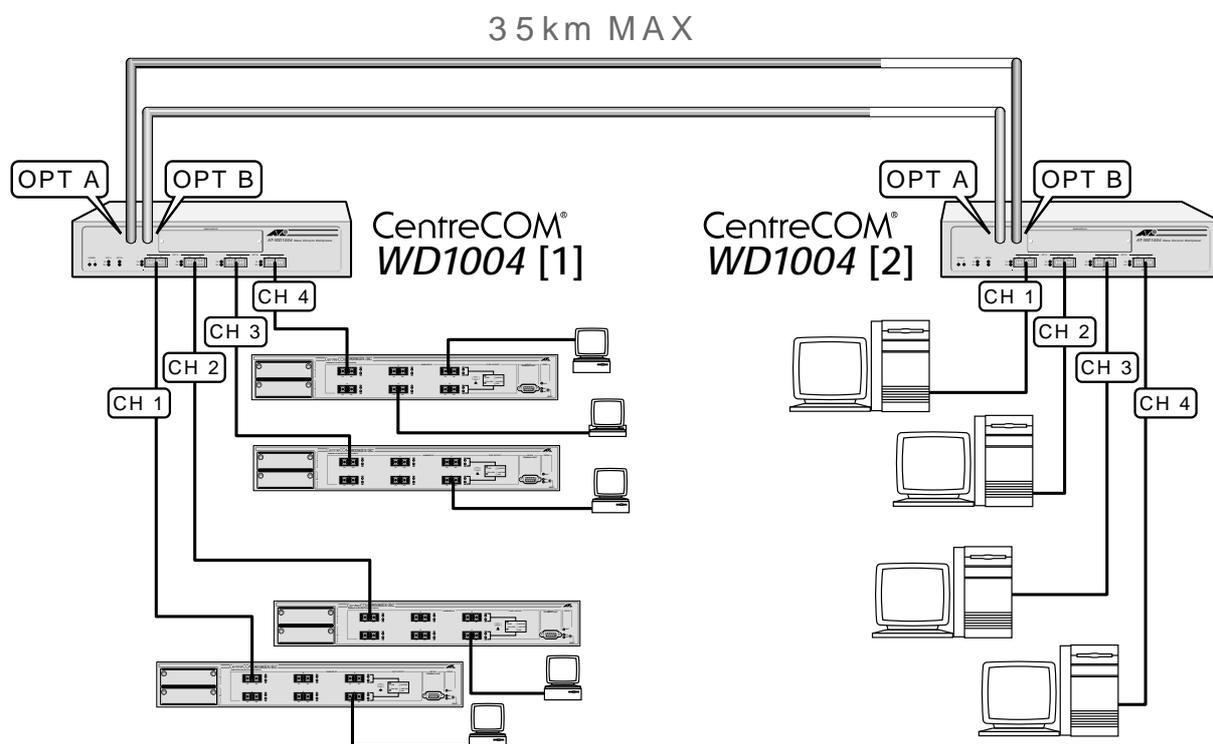
分割多重伝送

本製品は2チャンネルのローカルポート(GBICモジュール)の信号を装置内で多重化して、リモートポートから一本の光ファイバーで伝送します。OPT AはCH1とCH2の信号を、OPT BはCH3とCH4の信号をそれぞれ分割多重伝送します。



光波長	
1	=1285nm
2	=1315nm
3	=1345nm
4	=1375nm

構成例



上図のような構成では、以下の組み合わせで通信が可能です。

通信	WD1004 [1]		WD1004 [2]	
	ローカルポート	リモートポート	リモートポート	ローカルポート
1	CH 1	OPT A	OPT B	CH 3
2	CH 2	OPT A	OPT B	CH 4
3	CH 3	OPT B	OPT A	CH 1
4	CH 4	OPT B	OPT A	CH 2

通信 1 ~ 4 はそれぞれ独立しています。

ローカルポートの伝送距離はそれぞれに装着したGBICモジュールの仕様により異なります。

 21 ページ「ローカルポートの接続 / ケーブル」

マネージメントモジュールの接続

RS-232 ポートの接続

コンソールを使用して、内蔵ソフトウェアにアクセスする場合は、RS-232ストレートケーブルで、マネージメントモジュールのターミナルポートとコンソール側のRS-232コネクタを接続します。

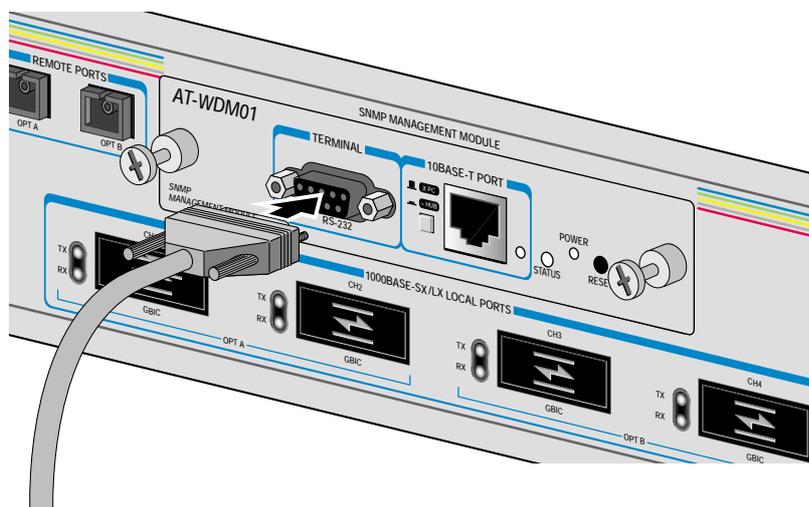
i ターミナルエミュレーションソフトの設定については、マネージメントモジュール(AT-WDM01)に付属のマニュアルをご参照ください。

コンソール

コンソールはVT-100互換のターミナルエミュレーターを実行するRS-232コネクタ付きPCおよびワークステーション、またはRS-232コネクタ付き非同期ターミナルのご使用をお勧めします。

ケーブル

ケーブルはマネージメントモジュール(AT-WDM01)に付属のRS-232ストレートケーブルをご使用ください。

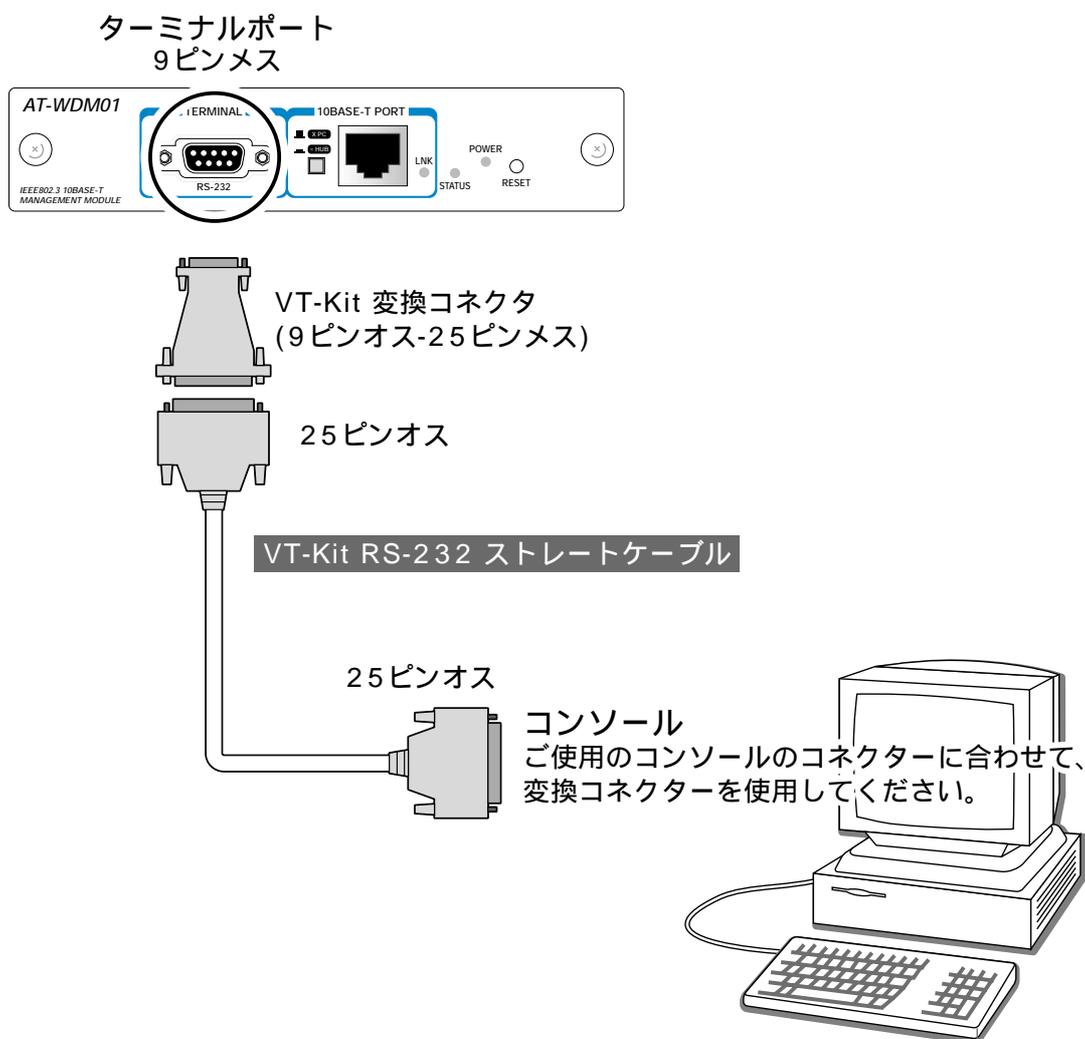


VT-Kit を使用する場合

弊社では、PCをコンソールとして使用するためのVT-100エミュレーションとRS-232ケーブルをセットにした商品「VT-Kit」を販売しております。

弊社VT-Kitを使用する場合は、図のように本製品とコンソールを接続します。VT-Kitは、PC-9800シリーズ、およびIBM-PC/XT/AT、DOS/V、AX機のいずれのPCでもご使用いただくことができます。

- セット内容：
- ・RS-232 ストレートケーブル (25 ピンオス -25 ピンオス)
 - ・各種変換コネクタ
 - ・VTTERM (MS-DOS 版端末エミュレーション)

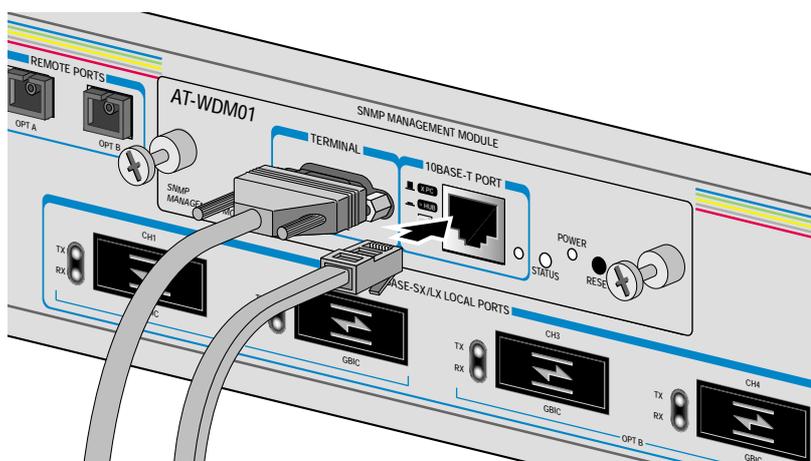


2 設置と接続

10BASE-T ポートの接続

10BASE-T ポートを接続することにより、ネットワークを経由して、内蔵ソフトウェアにアクセスすることができます。

i ログイン方法などの詳細はマネージメントモジュール(AT-WDM01)に付属のマニュアルをご参照ください。



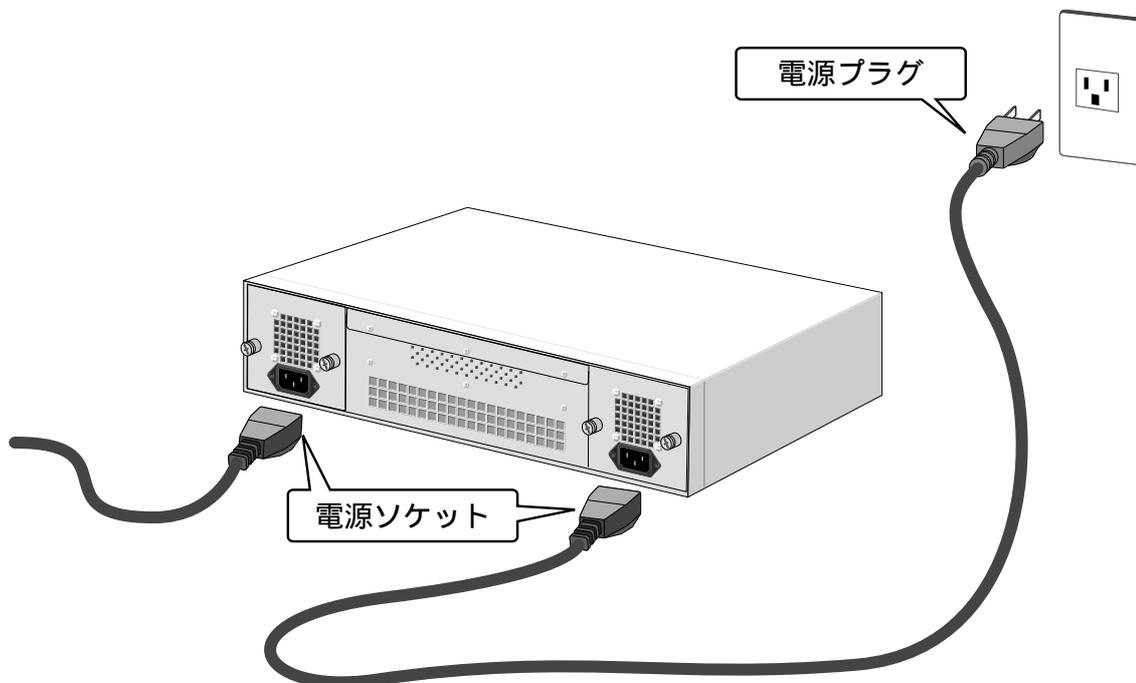
1. カテゴリー3以上のUTPケーブル(ストレート)を10BASE-Tポートに接続してください。
2. 接続する機器に合わせて10BASE-Tポートの左側のスイッチを設定します。

本製品とリピーターやスイッチを接続する場合 HUB

本製品とPCを接続する場合 PC

電源ケーブルを接続する

- 1 電源ケーブルの電源ソケット側を本体背面の電源コネクタに接続します。
- 2 電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに接続します。



- 3 リダンダント電源モジュールを装着している場合には上記とおなじ手順で接続します。
- 4 それぞれの POWER LED が点灯していることを確認します。

i リダンダント電源モジュールを使用する場合はそれぞれの電源コネクタに別々の電流回路からの電力を供給してください。

! 電源を切る場合は電源プラグを電源コンセントから、抜いてください。電源プラグを電源コンセントに接続したまま電源ソケットを抜かないでください。

⚡ 本製品をAC100V～120Vで使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。また、指定された電源電圧以外で使用しないでください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

3 付 録

トラブルシューティング

トラブルが発生したときは、まず発生したトラブルやLEDの状態を確認のうえ、該当の説明をお読みください。

LED 表示の確認

STATUS LED システムの状態を表示します。

LED	色	状態	表示内容
POWER 1	緑	点灯	標準装備の電源ユニットが正常に動作し、本体に電源が供給されています。
		消灯	標準装備の電源ユニットから電源が供給されていません。
POWER 2	緑	点灯	オプションのリダント電源モジュールが装着され、正常に電源が供給されています。
		消灯	オプションのリダント電源モジュールから電源が供給されていません。

リモートポート LED/ ローカルポート LED 各ポートの状態を表示します。

LED	色	状態	表示内容	
OPT A	T X	緑	点灯	ローカルポートCH 1/CH 2の光受信信号を正常に認識しています。
	R X	緑	点灯	対向するWD1004のCH 3/CH 4の光受信信号を正常に受信しています。
OPT B	T X	緑	点灯	ローカルポートCH 3/CH 4の光受信信号を正常に認識しています。
	R X	緑	点灯	対向するWD1004のCH 1/CH 2の光受信信号を正常に受信しています。
CH 1	T X	緑	点灯	対向するWD1004のCH 3の受信信号がOPT B（相手側） OPT A（自分側）を通過して正常に認識されています。
	R X	緑	点灯	自ポートが光信号を正常に受信しています。
CH 2	T X	緑	点灯	対向するWD1004のCH 4の受信信号がOPT B（相手側） OPT A（自分側）を通過して正常に認識されています。
	R X	緑	点灯	自ポートが光信号を正常に受信しています。
CH 3	T X	緑	点灯	対向するWD1004のCH 1の受信信号がOPT A（相手側） OPT B（自分側）を通過して正常に認識されています。
	R X	緑	点灯	自ポートが光信号を正常に受信しています。
CH 4	T X	緑	点灯	対向するWD1004のCH 2の受信信号がOPT A（相手側） OPT B（自分側）を通過して正常に認識されています。
	R X	緑	点灯	自ポートが光信号を正常に受信しています。

電源を投入したが、POWER LED が点灯しない

電源ケーブルが、正しく接続されていますか。

電源ケーブルに断線等はありませんか。

指定された電源電圧を使用していますか。

AC100V、50/60Hzの電源電圧で使用する場合は、必ず、同梱の電源ケーブルを使用してください。

ローカルポートを接続しても CH 1 ~ CH 4 (RX) LED が点灯しない

接続先の機器に電源は投入されていますか。

対向する機器との間はクロス接続になっていますか。

光ファイバーケーブルは2本で1対となっています。本製品のTXを接続先の機器のRXに、本製品のRXを接続先の機器のTXに接続してください。

GBICモジュールと接続先のポートに光ファイバーケーブルが正しく接続されていますか。

正しい光ファイバーケーブルが接続されていますか。

使用する光ファイバーケーブルは接続するGBICモジュールによって異なります。詳細は対応表をご参照ください。

 21 ページ「ローカルポートの接続 / ケーブル」

リモートポートを接続しても OPT A・OPT B LED が点灯しない

リモートポートのLEDはローカルポートの受信信号が正常な場合にのみ点灯します。

接続先の WD1004 に電源は投入されていますか。

双方のWD1004のOPTリモートポートに光ファイバーケーブルが正しく接続されていますか。

シングルモードの光ファイバーケーブルを使用していますか。

 20 ページ「リモートポートの接続 / ケーブル」

対向するWD1004との接続はOPT A OPT B、OPT B OPT Aになっていますか。

正しい通信ができない

光ファイバーケーブルの接続を確認してください。

光ファイバーケーブルの抜き差しを行ってください。また、抜き差しは、必ずTXとRXの両方を行うようにしてください。

以上の処置をしても正常に動作しないときは、アライドテレシスサポートセンターまでご連絡ください。

 32 ページ「サポート連絡先」

コネクタ仕様

ここでは、本製品に関する詳細な情報を必要とする方を対象に、本製品の動作条件や、コネクタの仕様などを説明します。

リモートポート・インターフェース
SC コネクタタイプを使用しています。

項目	リモートポート
波長	1300nm帯の4波長 (1285nm, 1315nm, 1345nm, 1375nm)
送信光パワー	-2.0 ~ 0.0dBm
受光感度	-22.0 ~ 0.0dBm

ローカルポート・インターフェース(GBICポート)
コネクタは2連SCを使用しています。

1000BASE-SX(AT-G8SX)

項目	1000BASE-SX
波長	850nm
送信光パワー	-9.5 ~ -4.0dBm
受光感度	-17.0 ~ 0.0dBm

1000BASE-LX(AT-G8LX)

項目	1000BASE-LX
波長	1300nm
送信光パワー	-11.0 ~ -3.0dBm
受光感度	-19.0 ~ -3.0dBm

本製品の仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3z 1000BASE-SX/LX
電源部	
定格入力電圧	AC100V-240V
入力電圧範囲	AC90V ~ 264V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	1.0A
平均消費電力	33W(最大47W)
平均発熱量	28kcal(最大40kcal)
環境条件	
保管時温度	-20 ~ 60
保管時湿度	20% ~ 90% (ただし、結露なきこと)
動作時温度	5 ~ 40
動作時湿度	20% ~ 80% (ただし、結露なきこと)
外形寸法	
	430 (W) x 361 (D) x 88 (H) mm
重量	
	8.5kg
適用規格	
安全規格	UL1950, CSA C22.2 No.950
EMI規格	VCCIクラスA

4 保証とユーザーサポート

保証

本製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項をご記入の上、弊社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。

「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、保証期間内の無償での修理や、障害発生時のユーザーサポートなどが受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社は、その責を一切負わないこととします。

ユーザーサポート

ユーザーサポートを受けていただく際には、このマニュアルの調査依頼書(CentreCOM WD1004)を(拡大)コピーしたものに必要事項をご記入の上、下記サポート連絡先までFAXしてください。

記入内容などについては、「調査依頼書のご記入にあたって」を参照してください。

サポート連絡先

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Tel:  0120-860-772

祝・祭日を除く月～金曜日 9:00～12:00 13:00～18:00

祝・祭日を除く土曜日 10:00～12:00 13:00～17:00

Fax:  0120-860-662

年中無休 24時間受付

調査依頼書のご記入にあたって

本依頼書は、障害の原因をできるだけ早く見つけるためにご記入いただくものです。ご提供いただく情報が不十分な場合には、原因究明に時間がかかったり、最悪の場合には、問題が解決できないこともあります。

迅速に問題の解決を行うためにも、弊社担当者がお客様の環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。

記入用紙に書ききれない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

なお、状況によりご連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

使用しているハードウェア、ソフトウェアについて

製品名、シリアル番号(S/N)、リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。

シリアル番号、リビジョンは、製品に同梱されている(本体底面に貼付されている)シリアル番号シールに記入されています。

(例)



AT-WDM01 をご使用の場合はソフトウェアバージョンを記入してください。ソフトウェアバージョンは、「Administration」メニューの「Diagnostics」にて表示されます。

お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。

エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

